

JIS A 1102

# 骨材のふるい分け試験

調査件名 名西ソイル室内試験

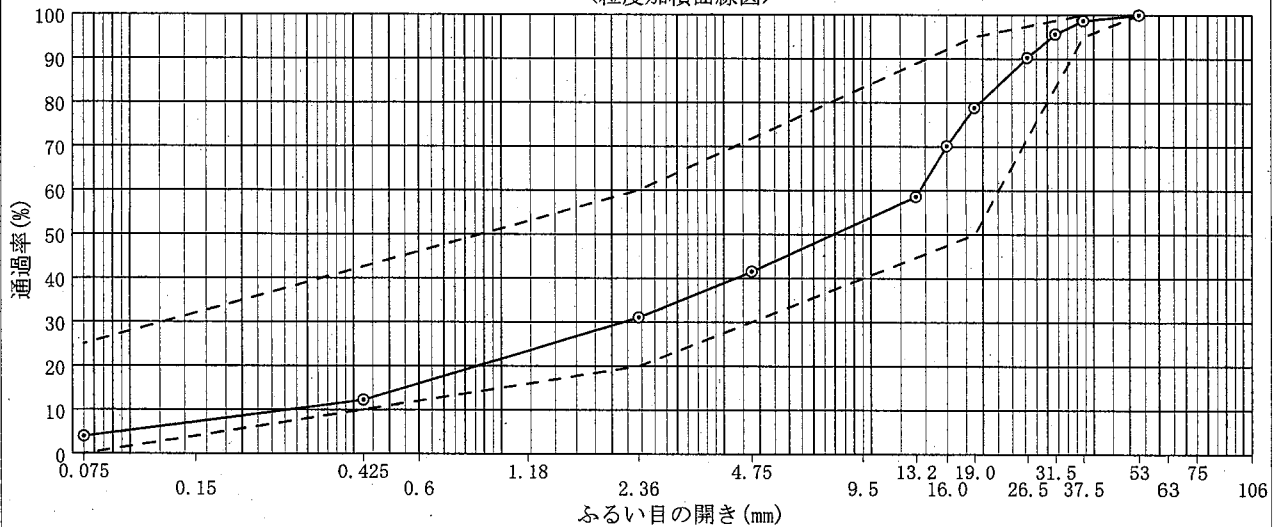
試験年月日 令和4年7月6日

試料名 改良路盤材

試験者

試料の種類	改良路盤材		採取年月日	令和4年7月4日	
試料の採取場所	改良路盤材土場		採取者		
全乾燥試料質量	3706.5 g		ふるい分け方法	手動	
ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる質量 (累加) (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
106					
75					
63					
53	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
37.5	49.9	49.9	1.3	1.3	98.7
31.5	164.1	114.2	3.1	4.4	95.6
26.5	360.0	195.9	5.3	9.7	90.3
19.0	788.1	428.1	11.5	21.2	78.8
16.0	1112.4	324.3	8.7	29.9	70.1
13.2	1538.0	425.6	11.5	41.4	58.6
9.5					
4.75	2170.5	632.5	17.1	58.5	41.5
2.36	2554.2	383.7	10.4	68.9	31.1
1.18					
0.6					
0.425	3252.7	698.5	18.9	87.8	12.2
0.15					
0.075	3561.2	308.5	8.3	96.1	3.9
以下(受皿)	3706.5	145.3	3.9	100.0	0.0
計	3706.5	3706.5	100.0		

<粒度加積曲線図>



備考 試験に使用されるサンプルは事前に40mmの振網を100%通過している事を確認しています。

調査件名 名西ソイル試験室 試験年月日 令和4年7月4日  
 採取日 令和4年7月4日

試料番号 (深さ) 即時 試験者

試験方法	締固めた土、 <del>乱さか</del>	ランマー質量 kg	4.5	土質名称	改良路盤材
突固め方法	即時CBR	落下高さ cm	45	自然含水比 $w_n$ %	10.5
試料準備	準備方法	非乾燥法、 <del>空気乾燥法</del>	突固め回数 回/層	67	最適含水比 $w_{opt}$ %
	空気乾燥前含水比 %	10.5	突固め層数 層	3	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	試料調製後含水比 $w_0$ %		モールド 内径 cm	15	荷重板質量 kg
			高さ cm	12.5	モールド容量 $V$ cm <sup>3</sup>
				5	2209

供試体 No.								
含水比	容器 No.	2		14		3		
	$m_a$ g	4127.1		3950.7		3874.1		
	$m_b$ g	3798.8		3648.7		3579.5		
	$m_c$ g	730.9		744.7		719.0		
	$w_1$ %	10.7		10.4		10.3		
平均値 $w_1$ %		10.7		10.4		10.3		
密度	(試料+モールド) 質量 $m_2$ g	11883		11995		12056		
	モールド質量 $m_1$ g	7371		7400		7402		
	湿潤密度 $\rho_1$ g/cm <sup>3</sup>	2.043		2.080		2.107		
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.846		1.884		1.910		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
	(試料+モールド) 質量 $m_3$ g							
	膨張比 $r_s$ %							
	湿潤密度 $\rho'_1$ g/cm <sup>3</sup>							
	乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>							
	平均含水比 $w'$ %							

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。  
 2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_s = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_1 = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + r_s/100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + r_s/100}$$

$$w' = \left( \frac{\rho'_1}{\rho'_d} - 1 \right) \times 100$$

調査件名 名西ソイル試験室 試験年月日 令和4年7月4日  
 採取日 令和4年7月4日

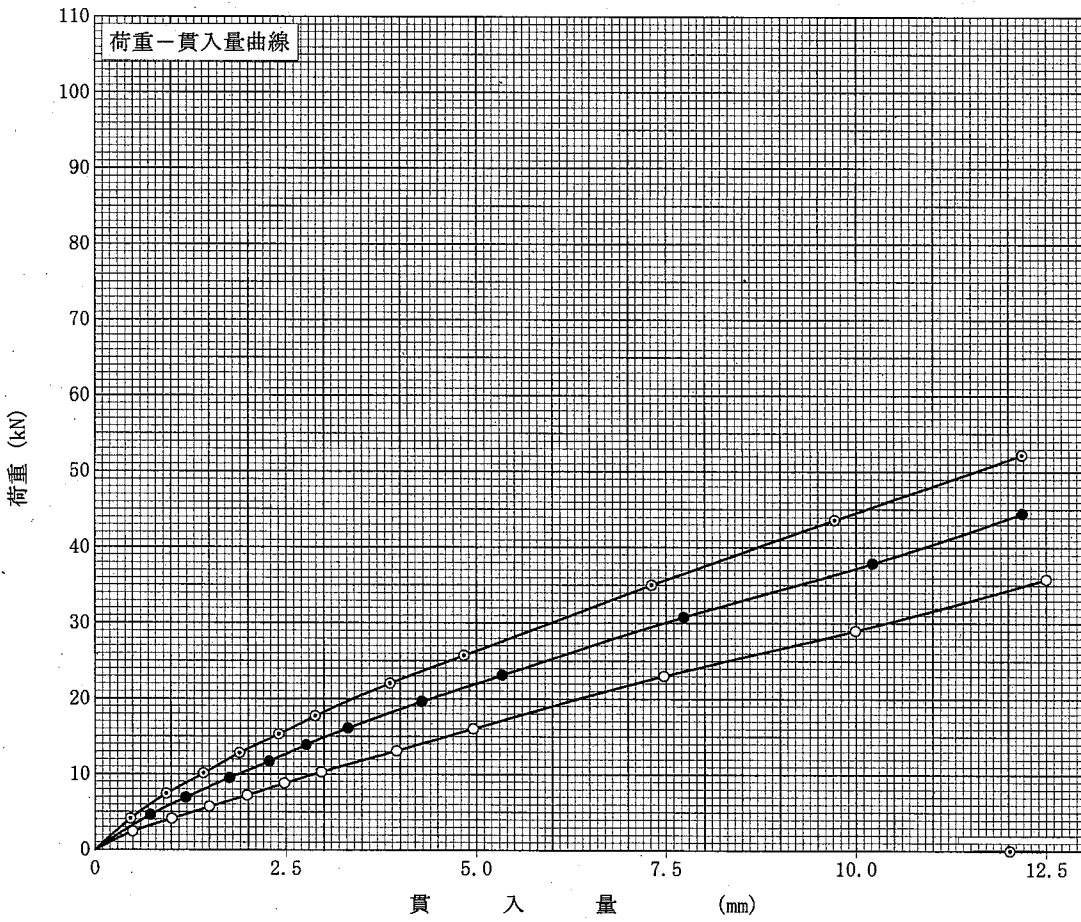
試料番号(深さ) 即時 試験者

試験方法	締固めた土, 圧縮土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	改良路盤材
突固め方法	即時CBR	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比 %	10.5
試料の準備方法	非乾燥法, 空気乾燥法	突固め回数	回/層	67	自然含水比 $w_n$ %	10.5
試験条件	<del>水浸</del> 非水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 $w_{opt}$ %	
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	15	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	12.5	

供試体 No.				
吸水膨張試験	前	含水比 $w_1$ %	10.7	10.4
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	1.846	1.884
	後	膨張比 $r_s$ %		
		平均含水比 $w'$ %		
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>		
貫入試験	試験後の含水比 $w_2$ %			
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		66.4	94.8
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		80.9	110.6
	C B R %		80.9	110.6

平均 C B R %  
107.9

特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm	2.5	5.0
荷重		
供試体 No. 8.9	12.7	22.0
供試体 No. 12.7	15.7	26.3
供試体 No. 15.7	6.9	10.3
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>	13.4	19.9
標準荷重 kN		